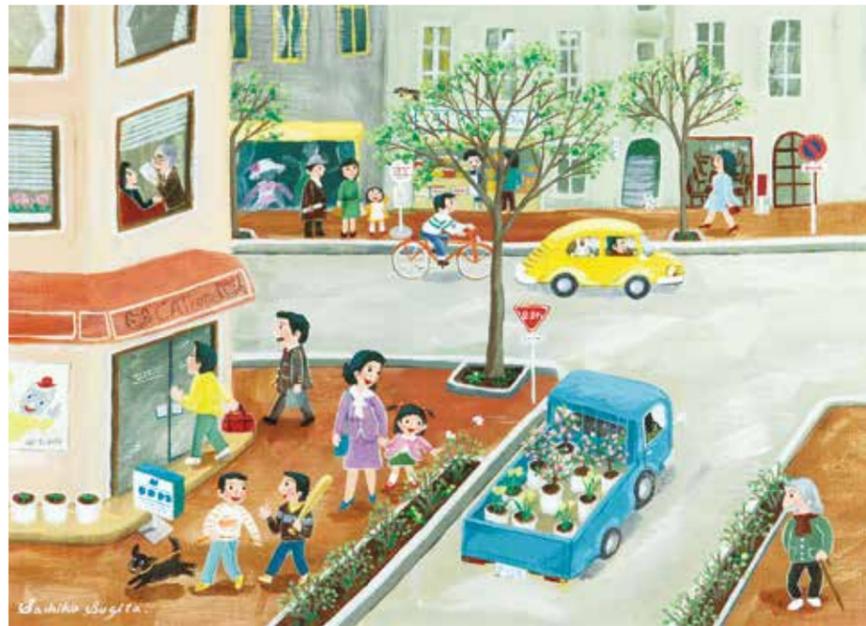


春の子どもたち、街や公園、野原で。

春の明るい自然の中で遊ぶ子どもたちや、にぎやかな春の街で人々が行き交う風景など多く手がけました。
絵の中でいろんな人々が会話しているような情景や、細かい表現も楽しんで描いていました。
これらの春の童画は、カレンダーや月刊誌の表紙として描いたものです。



◎スプリング 455 × 325mm (キャンバス)

◎花屋さんの前で
435 × 315mm・1997年



◎無題
350 × 250mm・1999年



◎青草の原
210 × 290mm・2005年

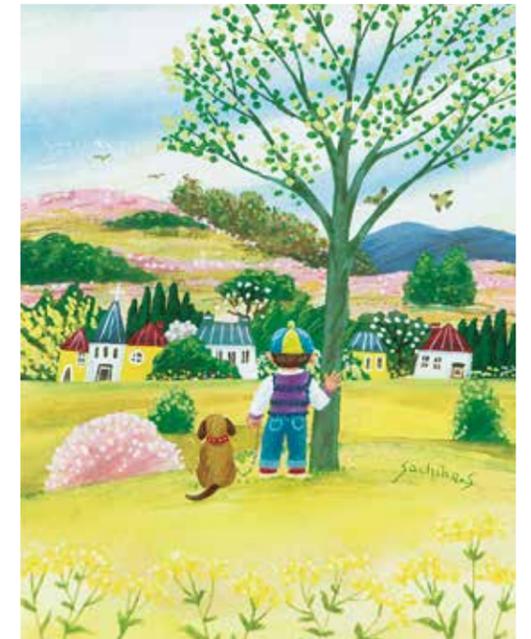


◎春の野原
430 × 320mm・1997年

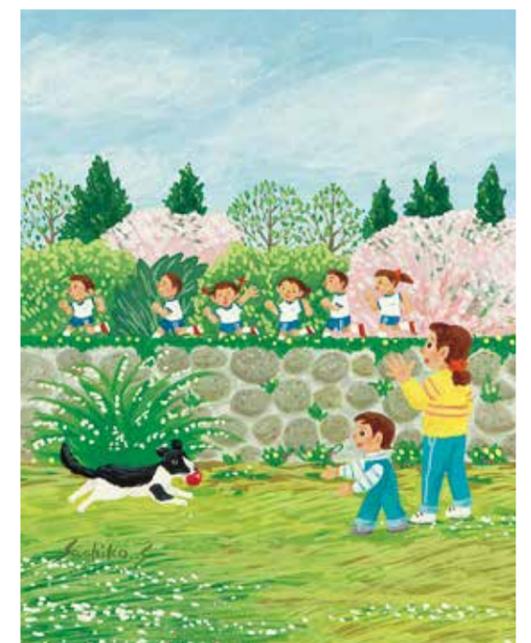


教会学校教案誌「成長」
2004年4・5・6月号

教会学校教案誌「成長」
2005年4・5・6月号
(いのちのこぼ社)



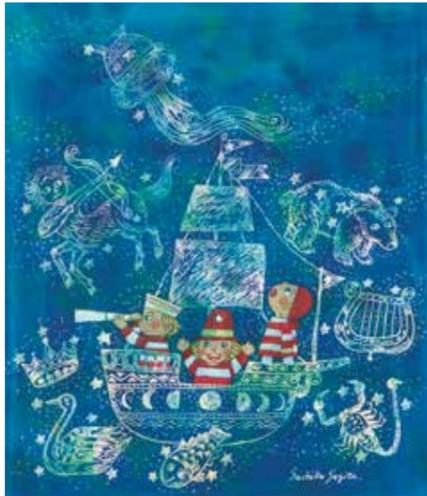
◎無題
210 × 290mm・2004年



◎マラソン
210 × 285mm・2003年

夏。花火、川あそび、海…。

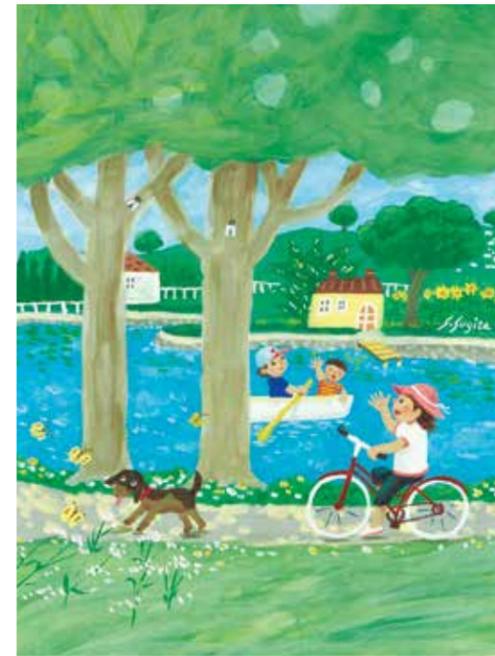
川あそびに熱中する夏休みの子どもたちなど、もう童画の中だけの風景なのかも知れませんが季節の移り変わりを子ども目線でとらえて、自然の色合いを楽しく遊びながら描いてきました。絵の中の平和な情景は、何処の国というわけではなく、懐かしい季節の風景です。



©ミュージック・トレイン
260 × 320mm



©夏休み 245 × 255mm・1885年



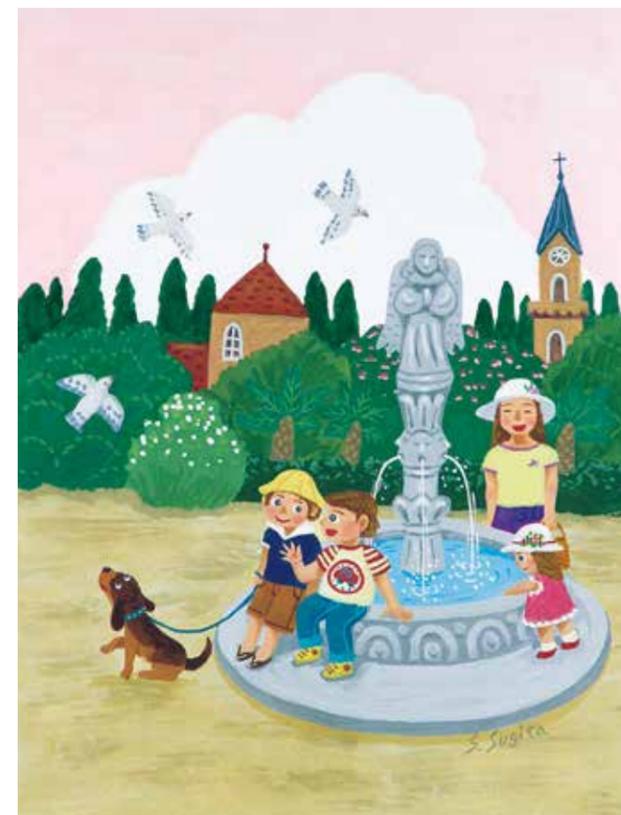
©無題
235 × 335mm・2007年



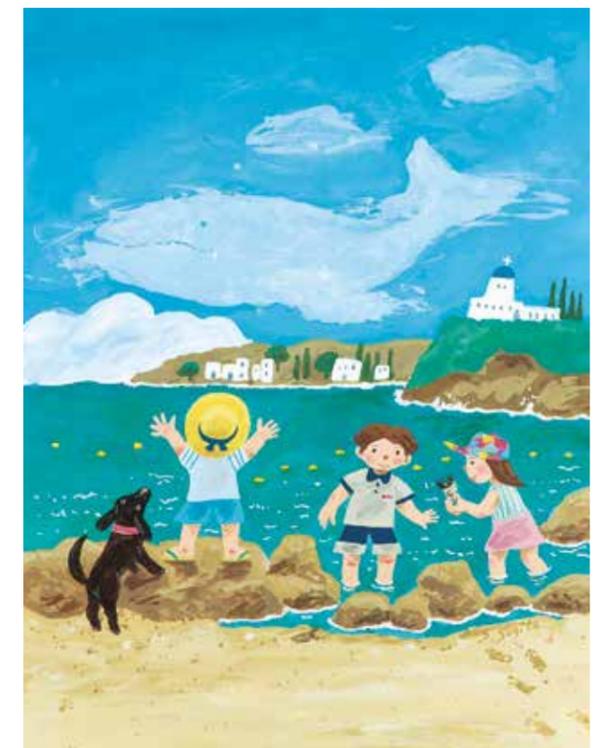
©あまやどり
435 × 315mm・1997年



©川あそび 435 × 315mm・1997年



©ふんすい
210 × 290mm・2003年



©無題
235 × 330mm・2005年



教会学校教案誌「成長」
2003年7・8・9月号

教会学校教案誌「成長」
2005年7・8・9月号
(いのちのこぼれ)

秋。公園、牧場、夕日、もみじ…。

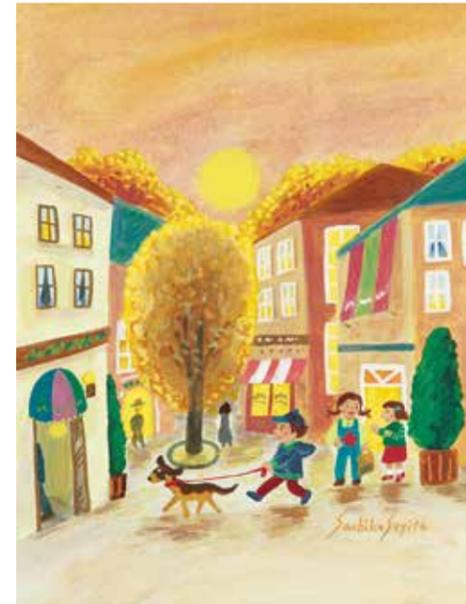
赤く染まった西の空に大きな夕日が沈んで行く…。誰にとっても秋の日の懐かしい風景です。
 パステルトーンのグラデーションは、オレンジ色だったり、少しピンクがかかったりと微妙な色合い。
 我が家に帰ってゆく子どもたちも、音楽を奏でる秋の森も、みんな一日の楽しさを運んでいます。



◎無題
210 × 290mm・2002年



◎無題
230 × 325mm・2003年



◎無題
230 × 335mm・2007年



◎はっぱあつめ、
どんぐりあつめ
210 × 310mm



教会学校教案誌「成長」
2002年10・11・12月号

教会学校教案誌「成長」
2003年10・11・12月号
(いのちのこぼれ)



◎デュエット
430 × 310mm・1997年



◎秋の公園
640 × 430mm・2010年



◎七つの子(野口雨情より) 455 × 305mm・1996年

冬。雪の日、そり遊び、スケート…。

雪の朝、こどもたちは外に飛び出します。坂道や土手をめざして楽しいそり遊びに夢中です。カラフルなオーバーやマフラー、手袋も靴も白い雪に映えてうれしそう。なんとと言っても、こどもたちのきらきら輝く小さな目が、寒い冬の日でもいきいき描かれています。



©小鳥のツリー 640 × 490mm・1995年



©雪の日 そりあそび 430 × 310mm・1997年



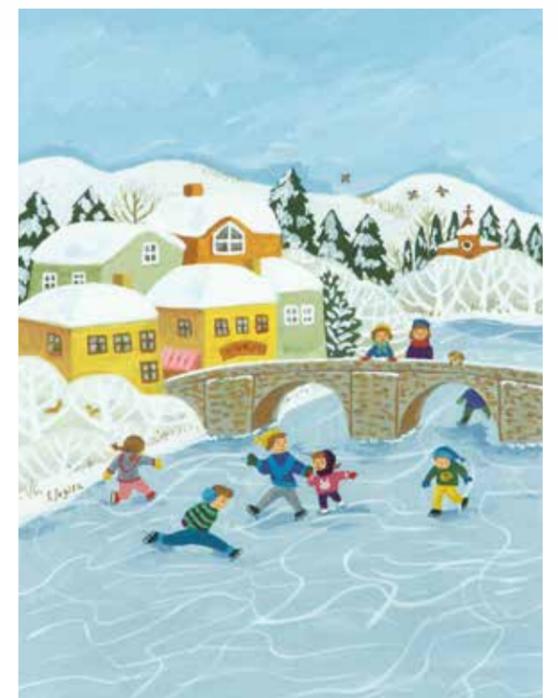
©無題 235 × 330mm・2005年



©無題 235 × 330mm・2008年



©ことりと友だち 210 × 285mm



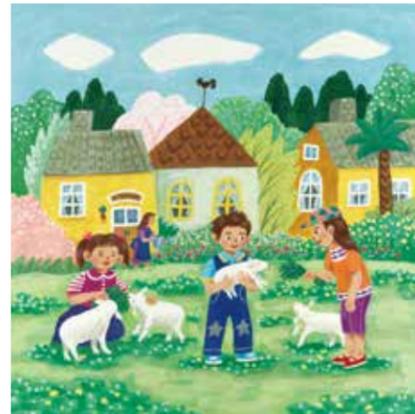
©無題 210 × 285mm・2004年

季節のめぐり。りんごの樹の四季。

まるで、小さな弟や妹の成長を見守る優しいお姉さんのように、鮮やかな色どりで変化するりんごの樹を描いた4枚の連作童画。可憐な花をつけた春、瑞々しく青々とした木陰をつくる夏、夕日に染まって豊かに実を結ぶ秋。そして眠りにつく冬。童画の中で、季節の表情は子どもたちが登場することで、家族のようなぬくもりを見せてくれます。



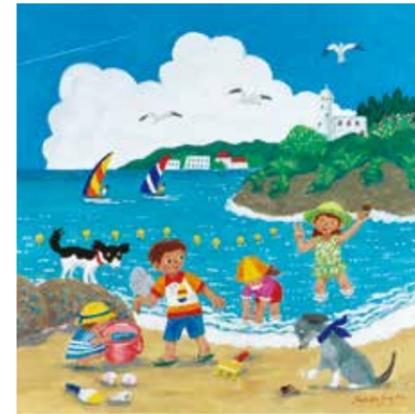
◎雪の河原
400×400mm
2009年



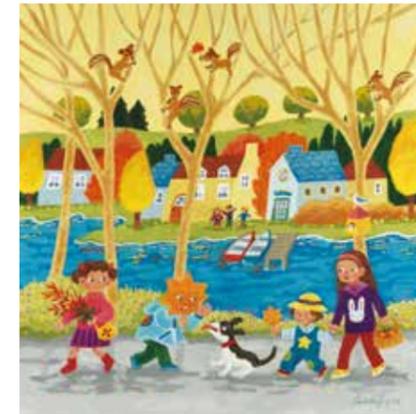
◎野原のこひつじ
400×400mm・2009年



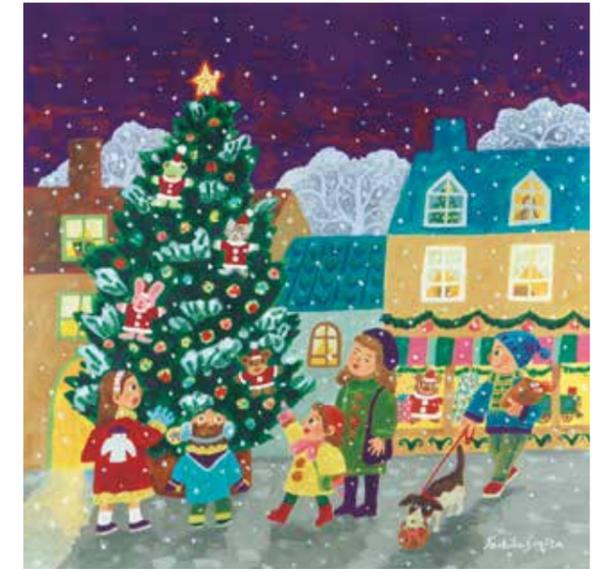
◎天使の広場
400×400mm・2008年



◎砂浜
400×400mm
2009年



◎大きなもみじ
400×400mm・2009年



◎クリスマスツリー
400×400mm・2008年



◎りんごの樹〈冬・雪あそび〉 265×265mm・1997年



◎りんごの樹〈春・花かんむり〉 265×265mm・1997年



◎りんごの樹〈夏・せみとり〉 265×265mm・1997年



◎りんごの樹〈秋・収穫〉 265×265mm・1997年

クリスマスの準備、讃美歌、キャンドルサービス。

クリスマスの季節には、微笑ましく、また心をやさしくさせてくれる情景がたくさん浮かびますね。

いろいろな国の人々で構成する聖歌隊のハレルヤコーラス。街角にもクリスマスを待ち望む楽しい情景があふれます。

世界中で愛されている曲“きよしこの夜”が生まれた教会のクリスマスイブを描いた「讃美」には、キツネの親子だけでなく当時まだ幼かったふたりの息子も登場させ、「キャンドルサービス」には飼っていたネコまで絵の中に友情出演させました。



◎キツネのツリー
320 × 455mm
1988年



◎ハレルヤコーラス 650 × 500mm・1994年



◎讃美(きよしこの夜) 880 × 720mm・1988年



◎クリスマスの指人形
725 × 500mm



◎ショーウインドウ
880 × 725・1991年



◎キャンドルサービス
800 × 630mm・1989年

新約聖書と天使の知らせ。

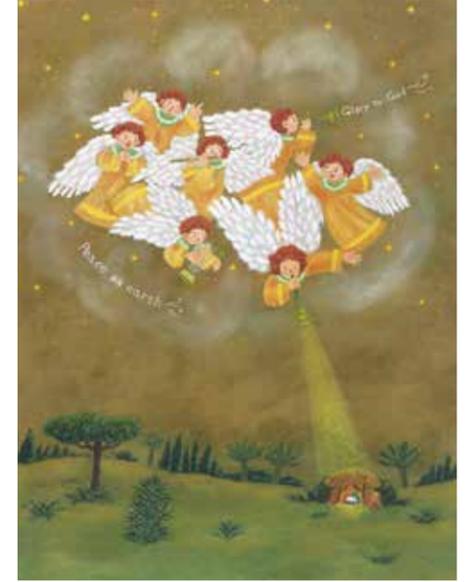
主イエスの誕生については、新約聖書の「マタイによる福音書」と「ルカによる福音書」のはじめに記されています。
 天使がマリアに受胎告知する場面は、キリスト教美術の世界では信仰的にも数多く残されていて有名です。
 ここに描かれた童画では、時代考証をふまえながらも、子供たちに親しみやすい絵として夢のある表現を心がけています。



◎三人の天使
 640 × 460mm
 2005 年



◎ベツレヘムへの道 630 × 440mm・2003 年



◎神に栄光、地には平和
 490 × 630mm・1998 年



◎ベツレヘムの馬小屋 660 × 620mm・1998 年



◎星にみちびかれて 260 × 180mm・1986 年



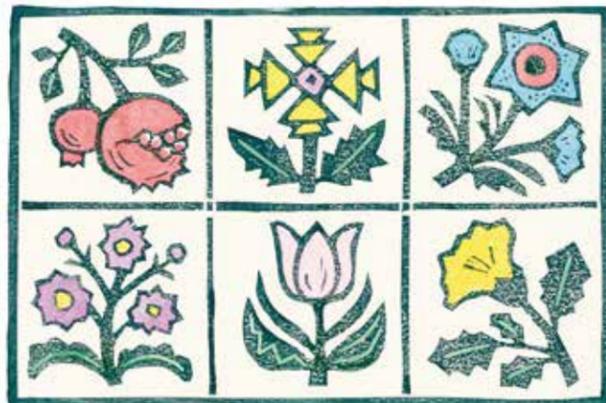
◎天使とマリア 650 × 500mm・2003 年



◎おさなご
 720 × 515mm
 2006 年

花々と静物。暮らしの版画。

近くの公園や景勝地、高原などへ行くときは、必ずちいさなスケッチブックを持って花々を描いていましたので、版画の題材として、植物や花、くだものなども多くとりあげました。また風景の中にそれらを添えて描くこともよく見られました。スケッチ描写とは違い、版画表現では単純化したフォルムと線の強さが際立ってあらわれます。1枚1枚着色されるリノカット版画は、水彩絵の具の優しい色合いが加わり、花々も生き返るように変化します。



◎無題（書籍の装幀用） 200 × 130mm



◎Welcome 200 × 150mm



◎月刊誌の表紙
(いのちのことは社)



◎愛 220 × 190mm



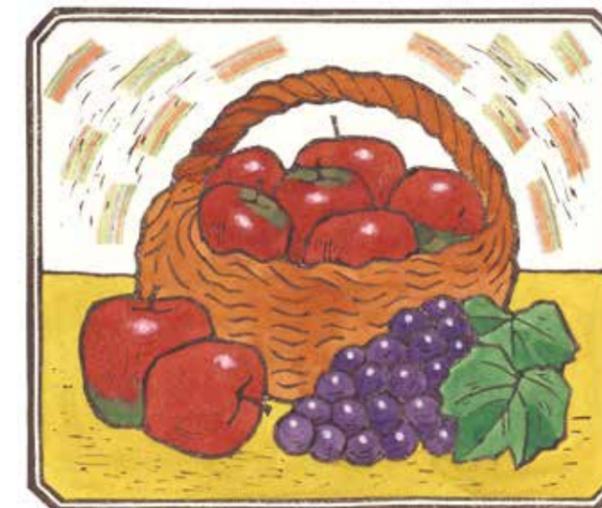
◎やすらぎ 180 × 130mm



◎野辺に咲く 190 × 140mm



◎ひまわり 220 × 190mm



◎みのり 220 × 190mm

「みんなの聖書・絵本シリーズ」を描く。

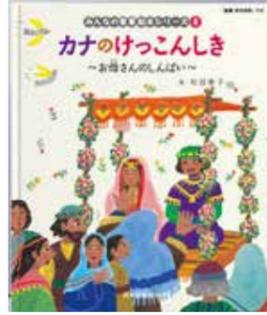
聖書を学びはじめて20数年が過ぎ、クリスマスの風景をはじめ、聖句カードの絵など限りなく描き続けたある日、不思議な導きで聖書物語をシリーズで描くこととなり、2ヶ月に1冊づつ3年間、新約聖書の絵本18巻を描く毎日が続きました。原画枚数にして234枚、聖書の時代考証をふまえて、全編のストーリーを描くのは童画家に与えられた誉れでした。旧約聖書の絵本を担当された画家・藤本四郎氏とともに初めて、日本人クリスチャン画家が聖書絵本を全巻描きました。



◎第2巻「少年イエスと洗礼者ヨハネ」より



◎第2巻「少年イエスと洗礼者ヨハネ」(日本聖書協会刊、以下18巻すべて)



◎第4巻「カナのけっこんしき」



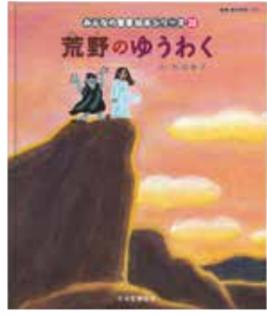
◎第14巻「わたしについてきなさい」



◎第16巻「五つのパンと二ひきの魚」



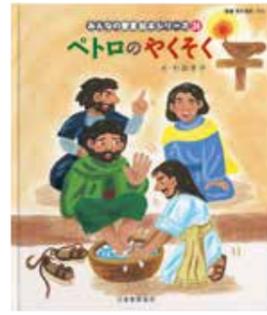
◎第18巻「まよえる小羊」



◎第20巻「荒野のゆうわく」



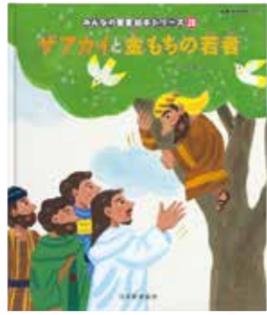
◎第21巻「天使の知らせ」



◎第24巻「ペトロのやくそく」



◎第26巻「教会のはじまり」



◎第28巻「ザアカイと金もちの若者」



◎第6巻「よきサマリア人」



◎第8巻「マルタとマリア」



◎第9巻「星にみちびかれて」



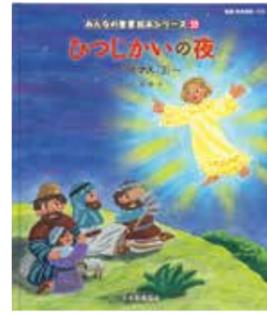
◎第12巻「十字架の道」



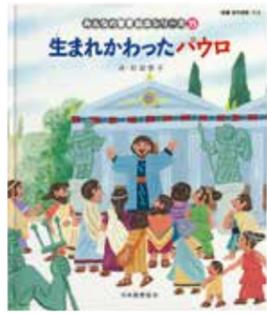
◎第30巻「神さまの国」



◎第32巻「おきて歩きなさい」



◎第33巻「ひつじかいの夜」



◎第35巻「生まれかわったパウロ」



◎第33巻「ひつじかいの夜」より

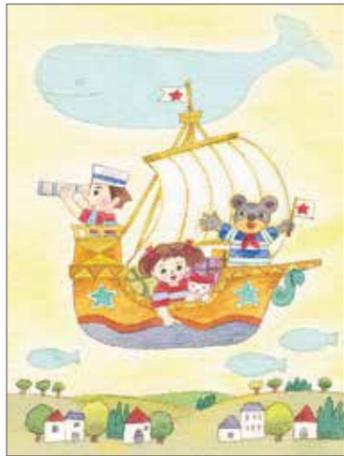
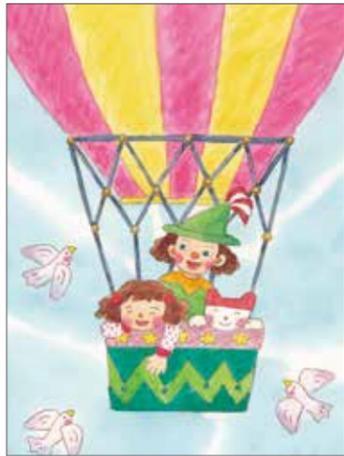


◎第24巻「ペトロのやくそく」より

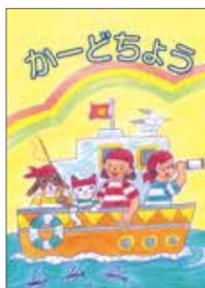
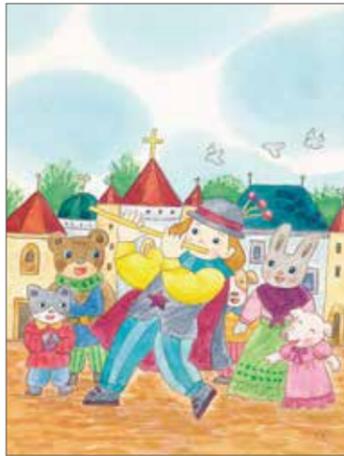
誕生日、お見舞い、クリスマスにカードを。

前ページで紹介した毎週日曜日に教会学校でもらう聖句カードは、集めると大変な数になりますので、カードを日曜毎に貼って楽しむ専用のカード帳というのを渡していました。

そのほか、お誕生日カードやお見舞いカード、クリスマスカード、また何でも使える多目的カードなど子供たちが教会で聖書の信仰にふれながら学ぶ機会に、長く童画が用いられ続けてきたことは感謝でした。



◎カード帳の表紙



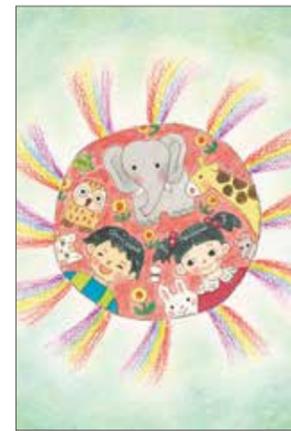
◎カード帳・カード類 (福音主義教会連合)



◎クリスマスカードには聖句が入っている。



◎クリスマスカード



◎お誕生日のカードは毎月たくさん必要なので、いろいろな種類の童画を描いた。



◎自由に使える多目的のカード。



◎毎月覚えるみことばのカード。楽しみながら声に出せるように、毎回可愛い飾りのイラストを描いていた。



◎お見舞い用のカード

◎毎月の聖句が手書きの文字が入ったかわいいミニカレンダー。(CS 成長センター)



メルヘン、ファンタジー…、と童画。

初期の作品をながめると、擬人化した動物たちや不思議な夢の世界などメルヘン調な作品が見られます。7色のパラソルを持って旅する、不思議な少年の物語はカラフルな色彩でキャンバスに多く描きました。児童書などの挿し絵で描いたものや、童謡のテーマをもとに描いた作品など自由な発想で描かれています。



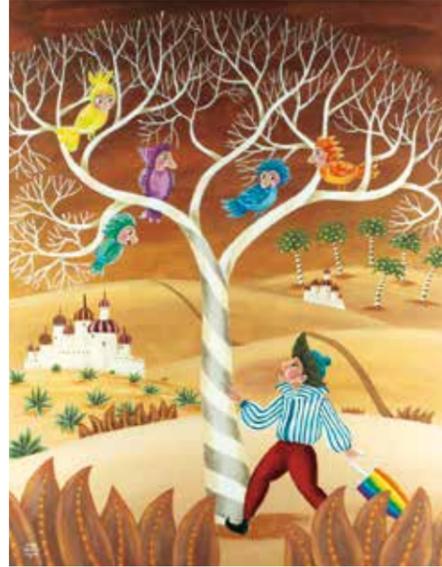
◎どうぶつたち (キャンバス) 910 × 730mm・1985年



◎不思議な少年シリーズII (キャンバス) 320 × 410mm・1983年



◎不思議な少年シリーズI (キャンバス) 730 × 910mm・1983年



◎不思議な少年シリーズIII (キャンバス) 730 × 910mm・1983年



◎不思議な少年シリーズIV (キャンバス) 360 × 410mm・1983年



◎小鳥のダンス 255 × 265mm



◎草原の夜 690 × 500mm



◎アラウンド・ザ・ワールド 260 × 360mm



◎10人のインディアン 445 × 320mm



◎花屋のじいさん (金子みずゞ童話集) 690 × 500mm



◎サーカス 460 × 325mm

モザイク画に魅せられ、天使を描く。

2007年2月、キリスト教美術の旅というツアー企画に参加し、イタリアを訪れました。

有名な美術館だけでなく、地方の小さな教会も訪ね、信徒らが聖書にもとづき描いたモザイク画に心揺さぶられました。

帰国後、この旅で得たさまざまな絵画の影響で、童画の背景となる“ムラバック”を試してみたいと感じたそうです。

今までの童画から比べると少し古典的な雰囲気となる、“天使”をテーマに翌年から描き始めました。



©天使とゆり 510×720mm 2008年



©天使と蝶 510×720mm 2008年